



2021年2月8日

各位

会社名 蝶理株式会社
 代表者名 代表取締役社長 先濱 一夫
 (コード: 8014、東証第1部)
 問合せ先 経営管理部長 河村 泰孝
 (TEL. 03-5781-6201)

通期連結業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2020年10月26日に公表しました通期連結業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

また、2021年2月8日開催の取締役会において、配当予想の修正を決議いたしましたので、あわせてお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 2021年3月期通期連結業績予想の修正 (2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (2020年10月26日公表)	百万円 210,000	百万円 4,700	百万円 5,000	百万円 2,200	円 銭 89.43
今回修正予想 (B)	210,000	6,000	6,400	3,000	122.02
増減額 (B - A)	0	1,300	1,400	800	
増減率 (%)	0.0	27.7	28.0	36.4	
(参考) 前期実績 (2020年3月期)	329,360	8,219	8,685	6,101	248.46

(2) 修正の理由

2021年3月期通期連結業績予想につきましては、第1四半期に中国の化学品製造会社グループに対する売掛債権に係る貸倒引当金繰入額を計上したことに伴い、2020年7月27日に各段階利益を当該貸倒引当金繰入額相当分減額する業績予想の修正を行いました。その後、第2四半期の実績において、本業の事業収益力に底堅さが見られ、利益率の改善と経費の削減等の効果もあり、2020年10月26日に2021年3月期通期連結業績予想を上方修正しました。

今般、当第3四半期においても引き続き堅調に推移したことから、年間見通しを見直した結果、改めて2021年3月期通期連結業績予想を上記の通り上方修正します。

なお、上記の通り2020年7月27日に中国の化学品製造会社グループに対する滞留債権の発生とそれに伴う貸倒引当金繰入額の計上を公表いたしました。現在も、当該化学品製造会社グループに対して訴訟など法的手

続きを実行し、債権の回収に注力しております。当第3四半期では、当該化学品製造会社グループが操業を継続している現況や取得済の集合物譲渡担保の見積価値などを考慮した貸倒引当金を計上しております。今後、当該化学品製造会社グループの動向、法的手続きの進捗及び取得済の集合物譲渡担保の状況などによって、業績に影響を及ぼす可能性があります。業績予想の修正及び配当予想の修正が必要となった場合は速やかに開示いたします。

2. 期末配当予想の修正

(1) 2021年3月期配当予想

	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	年間合計
前回予想 (2020年10月26日公表)		14円00銭	28円00銭
今回修正予想		23円00銭	37円00銭
当期実績	14円00銭		
前期実績 (2020年3月期)	31円00銭	32円00銭	63円00銭

(2)理由

当社は、株主への利益還元を重要な経営課題の一つと位置付けており、機動的な利益還元と経営・財務の安定性確保の観点から、親会社株主に帰属する当期純利益の水準に応じた業績連動型配当を実施し、中間配当と期末配当の年2回の剰余金の配当を行うことを基本方針としております。配当額につきましては、事業発展のための投資資金の確保に留意しつつ、経営環境等を総合的に勘案し、親会社株主に帰属する当期純利益を基準とした連結配当性向30%(年間)以上としています。

当社は、2020年10月26日に、中間配当金及び期末配当予想につきましては、それぞれ1株当たり14円、年間合計28円と公表しましたが、1.の「業績予想の修正」並びに上記配当方針に基づき、期末配当予想につきましては、1株当たり23円に修正いたします。これにより、中間配当金1株当たり14円と合わせ、年間配当予想は1株当たり37円となります。

(注)上記予想数値は、現時点において入手可能な情報に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以上